

第3編

令和3年10月31日執行

第49回衆議院議員総選挙
第25回最高裁判所裁判官国民審査

1 選挙の概要

第49回衆議院議員総選挙及び第25回最高裁判所裁判官国民審査は、令和3年10月19日に公示され、同月31日に執行された。

このうち衆議院議員総選挙は、10月4日に第100代内閣総理大臣に就任した岸田文雄総理が同日夜に開いた就任記者会見で表明したとおり、10月14日に衆議院が解散され、同日の臨時閣議において、任期満了日である10月21日より後の10月31日が投開票日となった。

解散から選挙期日までの期間が17日間と戦後最短であり、任期満了日以降に衆議院議員総選挙が執行されるのは、現行の日本国憲法下では初めてのことであるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大後、初となる全国規模の国政選挙となった。

また、令和3年6月23日に新型コロナウイルス感染症患者等である選挙人が郵便等により投票ができる「特定患者等の郵便等を用いて行う投票方法の特例に関する法律」が施行されて以降、初となる全国規模の国政選挙でもあった。札幌市においては、この特例郵便等投票制度の周知及び療養者の手続きの煩雑さを軽減することを目的に、対象となる方に投票用紙請求書等を配布した。

開票所においては、従事者の密を避けるために、令和3年4月の衆議院北海道第2区選出議員補欠選挙で先行的に運用した投票読取分類機を、全市で合計80台配置し、本格導入した。

投票率については、小選挙区は、全国平均55.93%で対前回（平成29年10月22日執行）と比べ2.25ポイント増となった。北海道では、58.79%で前回比1.51ポイント減、札幌市では、56.89%で前回比2.05ポイント減という結果であった。

また、期日前投票者数は、全国では20,579,233人で、前回と比べて3.75ポイント減であったが、札幌市においては、264,148人で前回と比べて2.54ポイント増であった。投票者数に占める割合は27.52%と、前回に比べて1.34ポイントの増となった。

次に、立候補の状況であるが、北海道内の小選挙区数は12であり、このうち札幌市は第1区（中央区、北区の一部、南区、西区の一部）、第2区（北区の一部、東区）、第3区（白石区、豊平区、清田区）、第4区（西区の一部、手稲区）、第5区（厚別区）の5選挙区に分かれており、立候補者数は、第1区、第2区及び第3区が各3人、第4区が2人、第5区が4人であった。

なお、北海道内の小選挙区には、候補者届出政党等別で自由民主党が11人、立憲民

主党が12人、日本維新の会と日本共産党が各3人、公明党とNHKと裁判してたる党弁護士法72条違反で各1人、本人届出として1人（無所属）の計32人が立候補し、選挙の結果、自由民主党が6議席、立憲民主党が5議席、公明党が1議席を獲得した。

また、比例代表では、北海道選挙区（ブロック）定数8人に對し、自由民主党（名簿登載15人、うち重複立候補11人）、立憲民主党（名簿登載15人、うち重複立候補12人）、日本維新の会（名簿登載3人、うち重複立候補3人）、日本共産党（名簿登載2人）、公明党（名簿登載2人）、支持政党なし（名簿登載2人）、国民民主党（名簿登載1人）、れいわ新選組（名簿登載1人）、社会民主党（名簿登載1人）、NHKと裁判してたる党弁護士法72条違反で（名簿登載1人、うち重複立候補1人）の10政党等が名簿（名簿登載43人、うち重複立候補27人）を届け出たが、選挙の結果、自由民主党が4議席、立憲民主党が3議席、公明党が1議席を獲得した。重複立候補による復活当選者は5人（自由民主党2人、立憲民主党3人）であった。

全体の結果では、衆議院の定数465に対して自由民主党が公示前から議席は減らしたもの、追加公認2人を含め、過半数を超える261議席を獲得し、連立政権を組む公明党が獲得した32議席と合わせると、両党で293議席を獲得する結果となった。

また、日本維新の会は、公示前の11議席を大きく上回る41議席を獲得し、衆議院第3党になった。

なお、衆議院議員総選挙と併せて執行された最高裁判所裁判官国民審査においては、審査に付された裁判官11人全員について罷免を可としないものと決定された。

以下は、この衆議院議員総選挙の概要である。

(1) 選挙の期日

- | | |
|--------|---------------|
| ア 公示日 | 令和3年10月19日（火） |
| イ 選挙期日 | 令和3年10月31日（日） |

(2) 選挙人名簿の登録（選挙時登録）

ア 選挙時登録

公職選挙法第22条第3項の規定により次のように定められた。

- | | |
|----------|---------------|
| （ア）登録基準日 | 令和3年10月18日（月） |
| （イ）登録日 | 令和3年10月18日（月） |

上記の登録により、札幌市の選挙人名簿登録者数は1,689,216人となり、全道計(4,489,856人)の37.62%（前回36.41%）を占めることとなった。

<選挙人名簿登録者数比較>

登録時 区分	今 回 (令和3年10月18日現在)	前回衆議 (平成29年10月9日現在)	直近の定時登録 (令和3年9月1日現在)	前回参議 (令和元年7月3日現在)
登録者数	(A) 1,689,216人	(B) 1,671,095人	(C) 1,688,017人	(D) 1,688,280人
対 比	——	(A) - (B) 18,121人	(A) - (C) 1,199人	(A) - (D) 936人

(3) 在外選挙人名簿の登録

登録は隨時行う。ただし、公職選挙法第30条の6第3項の規定により、令和3年10月19日（公示日）から10月31日（投票日）までは登録しない。

(4) 在外選挙人名簿登録者数（令和3年10月18日現在）

男 276人 女 458人 計 734人（全道 2,366人）

(5) 候補者数

小選挙区（定数 289）の候補者数は857人（前回936人）で、競争率は2.97倍（前回3.24倍）であった。なお、北海道内（定数12）では、候補者数は32人（前回30人）で競争率は2.67倍（前回2.50倍）であった。

また、比例代表（定数 176）については、全国11選挙区（ブロック）において、13政党等（前回11政党等）から名簿の届出（名簿登載817人（前回855人）、うち重複立候補623人（前回611人））がなされ、競争率は4.64倍（前回4.86倍）であった。

なお、北海道選挙区（定数8）は候補者数43人（前回42人）で競争率は5.38倍（前回5.25倍）であった。

(6) 選挙運動費用の支出制限額

小選挙区における北海道第1区から第5区までの選挙運動費用支出制限額は、次の

とおりであった。

北海道第1区	25,871,800円 (25,751,500円)
北海道第2区	26,022,000円 (25,974,500円)
北海道第3区	26,233,800円 (26,146,600円)
北海道第4区	24,562,200円 (24,711,200円)
北海道第5区	26,127,100円 (26,107,800円)

※ () 内は前回選挙時の制限額

(7) 選挙公営

ア ポスター掲示場（小選挙区）

札幌市における設置数は 2,209箇所（政令基準による設置数は2,386箇所であり、177箇所を減少した。）で、前回（2,199箇所）から10箇所増加し、1投票区あたりの平均設置数は前回と同数の7.1箇所であった。

なお、ポスター掲示場の区画数は、第1区～第5区とも8区画（前回8区画）であった。

イ 選挙（審査）公報（小選挙区、比例代表、国民審査）

小選挙区の選挙公報はブランケット判2ページ（両面刷り）、比例代表の選挙公報と国民審査の審査公報は各ブランケット判4ページ（両面刷り）で、丁合されたものを10月22日及び10月23日に道選管から各1,142,600部（前回1,091,800部）受領した。世帯配布については、ポスティング事業者への委託と各町内会等の協力を得て10月29日（選挙期日前2日）までに完了した。

なお、選挙公報及び審査公報の配布協力者への配達は、運送業者に委託した。

ウ 個人演説会等

公営施設使用の個人演説会等は全市で21回行われ、前回（51回）より30回少なかった。これらはすべて公費負担で行われた。

また、政党演説会は0回（前回0回）、政党等演説会は0回（前回2回）であった。

(8) 投票

ア 投票所

全市総数は311箇所で、前回と同数であった。

選挙時登録日(10月18日)現在における選挙人名簿登録者数の最大は豊平区第2投票区(豊平小学校)の10,104人、最小は東区第26投票区(福移小学校)の53人であった。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、過去の選挙における区ごとの時間別投票者数を札幌市選挙管理委員会のホームページに掲載し、投票者の分散を図るとともに、従事者のマスク着用、投票所出入口に手指消毒用消毒液の設置、一定の間隔を空けた入場整理、選挙人と接する受付係や名簿対照係、投票用紙交付係に飛沫感染防止のためのビニールカーテンの設置、投票所で使用する鉛筆の消毒、投票記載台の使用ブースの制限による間隔の確保、投票所内の定期的な換気等の取組を行った。

イ 投票の状況

投票は10月31日(日)午前7時に開始され、午後8時に終了した。

全市の投票所の事務従事者は4,510人で、前回の4,175人より335人の増となった。

投票は、小選挙区、比例代表、国民審査の順で行い、投票用紙は、合成紙(BPコード110(点字の投票用紙は色上質紙特厚口))を使用し、小選挙区があさぎ色(薄青色)の紙に黒色インク刷、比例代表がピンク色の紙に黒色インク刷、国民審査がうぐいす色の紙に黒色インク刷であった。

投票日当日の札幌市の天候は、気象庁の気象データでは、午前6時から午後6時までは曇後時々晴、午後6時以降は晴一時雨であり、最高気温は15.0°C、最低気温は5.4°Cであった。

小選挙区の投票率の札幌市平均は56.89% (前回58.94%) であった。また、全道平均は58.79% (前回60.30%)、全国平均は55.93% (前回53.68%) であった。比例代表の投票率の札幌市平均は56.88% (前回58.92%)、全道平均は58.78% (前回60.29%)、全国平均は55.92% (前回53.68%) であった。

投票の確定時刻は、午前2時33分 (前回午後10時55分) であった。

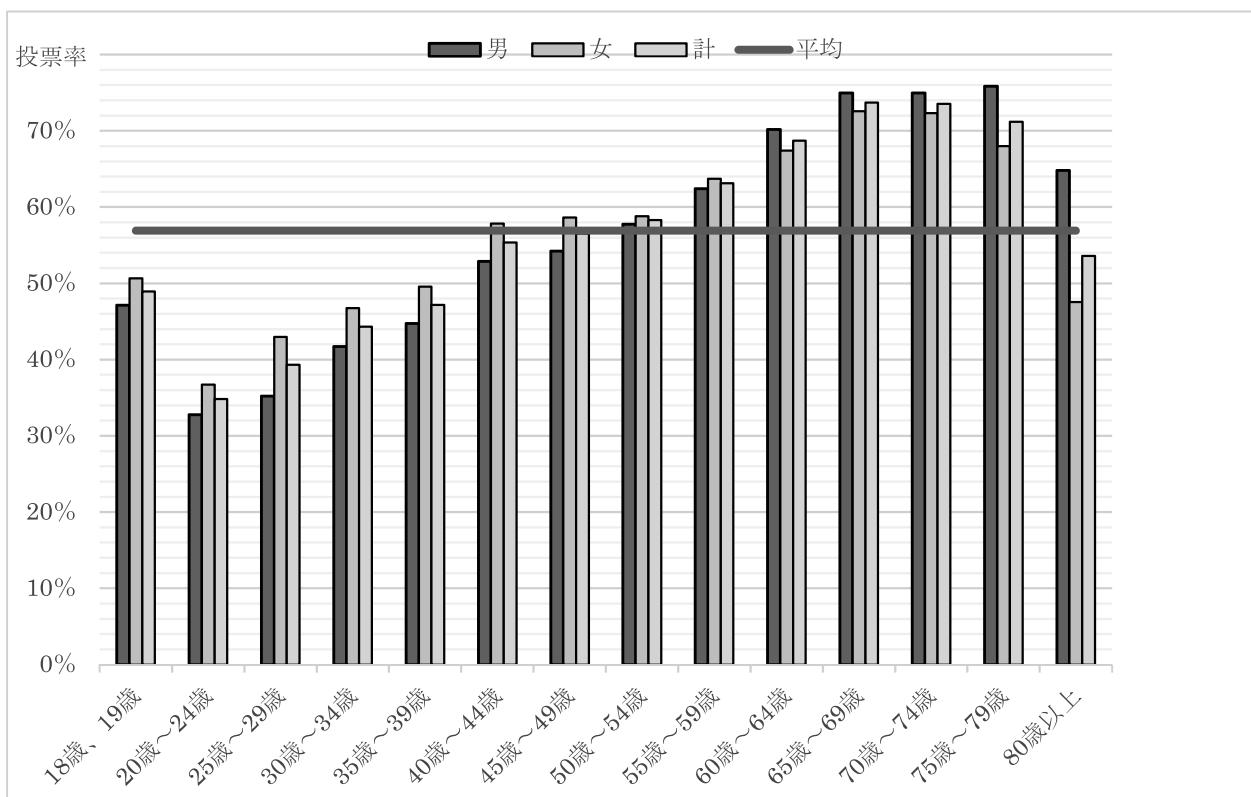
<投票率比較>

選挙時 選挙の別	今回	前回	前々回
	(令和3年10月31日執行)	(平成29年10月22日執行)	(平成26年12月14日執行)
小選挙区	56.89%	58.94%	54.76%
比例代表	56.88%	58.92%	54.74%
国民審査	56.69%	58.62%	52.58%

※ いずれも札幌市平均値。小選挙区、比例代表の投票率には在外投票に係る数値を含む。

市内10投票区を抽出した小選挙区の年齢別投票率は以下のとおり。

<年齢別投票率比較（小選挙区）>



ウ 在外選挙人名簿登録者の投票

在外選挙人制度による小選挙区の投票率は、札幌市平均は21.25%（前回24.26%）、全道平均は14.67%（前回16.26%）であった。

エ 期日前投票

小選挙区の期日前投票者数は264, 148人で、投票者数に占める割合は27. 52%（前回26. 18%）、有権者数に占める割合は15. 66%（前回15. 43%）であった。

新型コロナウイルス感染症対策として、期日前投票に来場する投票者の分散を図るため、4月の衆議院北海道第2区選出議員補欠選挙に引き続き、過去の選挙における期日前投票所の日別、時間別投票者数をホームページに掲載するとともに、第1期日前投票所の開設時間を1時間延長し、午後9時までとしたほか、当日投票所と同様の対策を施した。

さらに、投票者の分散を促すため、「期日前投票所混雑状況確認Webサービス」を導入し、札幌市選挙管理委員会のホームページに、期日前投票所の混雑状況をリアルタイムで表示した。

この混雑状況の総アクセス数は88, 882件、うち携帯・タブレット端末からのアクセス数は51, 205件(57. 61%)、パソコンからのアクセス数は37, 677件(42. 39%)であった。

オ 不在者投票

小選挙区の不在者投票者数は13, 420人で、前回(15, 068人)と比べて1, 648人の減であった。

宿泊施設や自宅で療養をしている新型コロナウイルス感染症患者等である選挙人が、療養場所にて郵便等により投票ができる「特定患者等の郵便等を用いて行う投票方法の特例に関する法律」が令和3年6月23日に施行されて以降、初となる全国規模の国政選挙であった。

札幌市においては、この特例郵便等投票制度の周知及び療養者の手続きの煩雑さを解消することを目的に、10月15日(衆議院解散日の翌日)から10月26日(特例郵便等投票の請求期限日の前日)までの期間、制度の周知及び特例郵便等投票に必要な書類を、宿泊療養者には施設入所の際に、自宅療養者には郵送により配布した。併せて、手袋や除菌シートなど感染拡大防止のための衛生用品も交付した。

本取組を実施するにあたり、保健所で管理する感染者の個人情報を取り扱うシステム(COVID-19対策事務支援ツール)を使用する必要があったことから、市・区選挙管理委員会事務局職員22人(係長職11人、担当職員11人)を保健福祉局職員として兼務発令した。

なお、期間を通じ合計87人に宿泊療養者及び自宅療養者へ書類等を交付し、当該制度を用いて投票した者は6人（自宅療養者2人、検疫法に基づく隔離・停留の措置対象者4人）であった。

(9) 開票

ア 開票の状況

開票は10月31日（日）午後9時から各区一斉に行われ、翌11月1日午前4時27分にすべてが確定した。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、開票所内の密回避のために、前回（4,139人）より約3割減となる2,897人の従事者で開票事務を行い、取り扱った投票の総数は2,874,966票（小選挙区959,838票、比例代表959,588票、国民審査955,540票）であった。

なお、4月の補欠選挙で先行導入した投票読取分類機について、今回の総選挙では、全市合計80台を設置し、小選挙区、比例代表、国民審査のすべての分類に導入したところである。

＜開票確定時刻＞

選挙の別	今回 (令和3年10月31日執行)	前回 (平成29年10月22日執行)
小選挙区	11月1日 午前1時55分 (4時間55分)	10月23日 午前2時37分 (5時間37分)
比例代表	11月1日 午前4時27分 (7時間27分)	10月23日 午前2時17分 (5時間17分)
国民審査	11月1日 午前3時53分 (6時間53分)	10月23日 午前2時37分 (5時間37分)

※（）内は、開票開始から終了までの所要時間

イ 無効投票

無効投票数は次表のとおりであり、無効投票に占める白票の割合は小選挙区62.44%（前回61.24%）、比例代表64.56%（前回65.89%）であった。

<無効投票数>

選挙時 選挙の別	今回 (令和3年10月31日執行)	前回 (平成29年10月22日執行)
小選挙区（札幌市計）	20,499票(2.14%)	26,048票(2.65%)
比例代表（札幌市計）	16,023票(1.67%)	13,467票(1.37%)
国民審査（札幌市計）	23,631票(2.47%)	22,935票(2.35%)

※ () 内は、投票総数に占める無効投票の割合

(10) 選挙結果

北海道内の選挙前の議席数（20）は自由民主党9、立憲民主党7、公明党2、希望の党1、無所属1であったが、選挙結果では、自由民主党10、立憲民主党8、公明党2となった。このうち、前議員は15人、新人は3人、元議員は2人であった。

全国的には、自由民主党が追加公認2人を含め261議席を獲得、15議席減らしたもののは過半数を維持し、自由民主党と連立政権を組む公明党が獲得した32議席を合わせると293議席を占める結果となった。

また、立憲民主党が96議席、日本維新の会が41議席、国民民主党が11議席、日本共産党が10議席、れいわ新選組が3議席、社会民主党が1議席を獲得、無所属は12人が当選（うち2人は自由民主党が追加公認）した。

当選人のうち、前議員は345人（前回377人）、新人は96人（前回56人）、元議員は24人（前回32人）であり、全体の約74%を前議員が占める結果となった。

なお、全体の女性の当選人は45人（前回47人）であり、北海道内の女性の当選人は4人（小選挙区1人、比例代表3人）（前回3人）であった。

また、比例代表の重複立候補による当選人は130人（前回114人）であった。

ア 小選挙区（北海道内12選挙区）

〈候補者別得票数〉

1 区	当 118,286 道 下 大 樹 立 民 前 106,985 船 橋 利 実 自 民 前 35,652 小 林 悟 維 新 新	7 区	当 80,797 伊 東 よしたか 自 民 前 45,563 しのだ 奈保子 立 民 新 12,913 石 川 明 美 共 産 新
2 区	当 105,807 松 木 けんこう 立 民 前 89,745 高 橋 ゆうすけ 自 民 新 41,076 山 崎 泉 維 新 新	8 区	当 112,857 おおさか 誠 二 立 民 前 101,379 前 田 かずお 自 民 元
3 区	当 116,917 高 木 ひろひさ 自 民 元 比 112,535 荒 井 ゆたか 立 民 新 32,340 こわだ やすふみ 維 新 新	9 区	当 113,512 山 岡 達 丸 立 民 前 比 106,842 ほりい 学 自 民 前
4 区	当 109,326 中 村 ひろゆき 自 民 前 比 108,630 おおつき ぐれは 立 民 新	10 区	当 96,843 いなつ 久 公明 前 比 82,718 神 谷 ひろし 立 民 前
5 区	当 139,950 和 田 よしあき 自 民 前 111,366 池 田 ま き 立 民 前 16,758 橋 本 み か 共 産 新 8,520 大 津 しんたろう 本人 新	11 区	当 91,538 石 川 かおり 立 民 前 比 85,336 中 川 ゆうこ 自 民 元
6 区	当 128,670 東 くによし 自 民 新 93,403 にしかわ 将 人 立 民 新 9,776 さいとう 忠 行 NHK 新	12 区	当 97,634 武 部 あらた 自 民 前 55,321 かわはらだ 英世 立 民 新 14,140 菅 原 まこと 共 産 新

※ 「当」は小選挙区での当選。「比」は重複立候補による比例代表での当選

イ 比例代表（北海道選挙区）

〈政党等別得票数〉

政 党 等 名	札幌市得票数計	北海道得票数計（票）	当選人数（人）
自由民主党	284,233 (30.12%)	863,300 (33.60%)	4
立憲民主党	246,923.112 (26.17%)	682,912.582 (26.58%)	3
公明党	99,250 (10.52%)	294,371 (11.46%)	1
日本維新の会	105,227 (11.15%)	215,344 (8.38%)	0
日本共産党	81,578 (8.65%)	207,189 (8.06%)	0
れいわ新選組	41,081 (4.35%)	102,086 (3.97%)	0
国民民主党	34,464.876 (3.65%)	73,621.234 (2.87%)	0
支持政党なし	18,448 (1.96%)	46,142 (1.80%)	0
NHKと裁判してる党 弁護士法72条違反で	17,382 (1.84%)	42,916 (1.67%)	0
社会民主党	14,978 (1.59%)	41,248 (1.61%)	0
計	943,564.988	2,569,129.816	

※ 上段より北海道得票数計の降順で掲載。（ ）内は小数点以下第3位を四捨五入

〈政党等別当選者氏名〉

	名簿	氏名	順位	小選挙区	(惜敗率)		名簿	氏名	順位	小選挙区	(惜敗率)
自由民主党	1	鈴木 貴子	1	当	100.000	立憲民主党	1	道下 大樹	当	当	100.000
	2	わたなべ 孝一	2				1	松木 けんこう	当		100.000
	3	高木 ひろひさ	当				1	おおか 誠二	当		100.000
	3	中村 ひろゆき	当				1	山岡 達丸	当		100.000
	3	和田 よしあき	当				1	石川 かおり	当		100.000
	3	東 くによし	当				1	おおつき くれは	落	1	99.363
	3	伊東 よしたか	当				1	荒井 ゆたか	落		96.252
	3	武部 新学	当				1	神谷 ひろし	落		85.414
	3	ほりい	落		94.123		1	池田 まき	落		79.575
	3	中川 ゆうこ	4	落	93.224		1	にしかわ 将人	落		72.591
	3	船橋 利実	落	落	90.446		1	かわはらだ 英世	落		56.661
	3	前田 かずお	落	落	89.829		1	しだ 奈保子	落		56.391
	3	高橋 ゆうすけ	落	落	84.819		13	はらや なみ			
	14	つる羽 よしこ					14	秋元 恭兵			
	15	長友 たかのり					15	田中 勝一			
公明党	1	佐藤 英道	1			日本維新の会	1	山崎 泉	落	38.821	
	2	荒瀬 正昭					1	小林 悟		30.140	
							1	こわだ やすふみ		27.660	
日本共産党	1	はたやま 和也				れいわ新選組	1	もんべつ 芳夫			
	2	伊藤 りち子									
国民民主党	1	山崎 まや				支持政党なし	1	佐野 秀治			
	2						2	中村			
弁護士法72条違反で NHKと裁判してゐる党	1	さいとう 忠行		落	×	社会民主党	1	豊巻 絹子			

※ 左上より右下に向かって、北海道得票数計の降順で掲載

※ 惜敗率欄が「×」となっている衆議院名簿登載者は、重複立候補者のうち小選挙区選出議員の選挙で供託物没収点（有効投票総数の10分の1以上の得票）に達しなかつた者であり、比例代表選出議員の選挙の衆議院名簿に記載されていないものとみなされる者である。

ウ 政党等別当選者数（北海道）

〈政党等別当選者数〉

(単位 人)

区 分 政党等名	小選挙区				比例代表				計			
	新	前	元	計	新	前	元	計	新	前	元	計
自由民主党	1	4	1	6		3	1	4	1	7	2	10
立憲民主党		5		5	2	1		3	2	6		8
公明党		1		1		1		1		2		2
日本維新の会												
日本共産党												
れいわ新選組	-	-	-	-								
国民民主党	-	-	-	-								
支持政党なし NHKと裁判してゐる党 弁護士法72条違反で	-	-	-	-								
社会民主党	-	-	-	-	-	-	-					
無所属												
計	1	10	1	12	2	5	1	8	3	15	2	20

※ 当選者数計の降順で掲載

エ 政党等別当選者数（全国）

〈政党等別当選者数〉

(単位 人)

区 分 政党等名	小選挙区				比例代表				計			
	新	前	元	計	新	前	元	計	新	前	元	計
自由民主党	22	164	1	187	11	60	1	72	33	224	2	259
立憲民主党	6	47	4	57	9	27	3	39	15	74	7	96
日本維新の会	7	7	2	16	20	1	4	25	27	8	6	41
公明党		9		9	9	11	3	23	9	20	3	32
国民民主党		6		6	4		1	5	4	6	1	11
日本共産党		1		1		8	1	9	9	1	10	
れいわ新選組					3			3	3			3
社会民主党	1			1					1			1
NHKと裁判してゐる党 弁護士法72条違反で												
支持政党なし	-	-	-	-								
日本第一党												
新党やまと 政策交代によるコロナ 対策強化新党	-	-	-	-								
無所属	4	4	4	12	-	-	-	-	4	4	4	12
計	40	238	11	289	56	107	13	176	96	345	24	465

※ 当選者数計の降順で掲載